

第3回 全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会

大会要項

- 主催 ・ 関西学生陸上競技連盟 関西テレビ放送 産経新聞社
- 後援 ・ 日本学生陸上競技連合、関西経済連合会、大阪府、大阪市
大阪府スポーツ協会、大阪市教育委員会、サンケイスポーツ
- 運営協力 ・ 大阪陸上競技協会
- 特別協賛 ・ 住友電気工業株式会社
- 協賛 ・ 岩谷産業株式会社、Daigas グループ、西日本電信電話株式会社、
小波津式神経筋無痛療法研究会、富士ホームサービス株式会社
株式会社ジャパンクリエイティブグループ、タマホーム株式会社
- 期日 ・ 2023年2月19日(日) 12時10分スタート(予定)
- コース ・ ヤンマーフィールド長居と長居公園内特設コース 全長20キロ
(3km,2km,5km,3km,2km,5kmの6区間を男女3名ずつ)
- 出場資格 ・ 2022年度 日本学生陸上競技連合普通会員
- 出場大学 ・ エントリー19チーム
- ◎関西学生陸上競技連盟加盟校 10校
(大阪教育大学、関西大学、関西学院大学、京都教育大学、
京都産業大学、神戸学院大学、同志社大学、佛教大学、
明治国際医療大学、立命館大学)
- ◎関東学生陸上競技連盟加盟校 8校 (主催者招待校)
(順天堂大学、城西大学、拓殖大学、中央大学、筑波大学、
東洋大学、日本体育大学、立教大学)
- ◎関西学連選抜(1チーム)
☆招待基準…長距離種目の大学ランキング、全国主要大会の成績と照
らし合わせながら主催が協議の上で決定(注1)
- エントリー ・ 2022年12月6日(火)までに、選考審査用紙の提出並びに参加希望校
アンケートへの回答
- 選考方法 ・ ★選考は下記の通り行う。
- ・ WAスコアリングテーブルを使用する。
 - ・ 2021年4月1日～2022年12月5日までの、1500m、若しくは5000m
の記録を、WAスコアリングテーブルにて点数化し、上位10校に出
場権を与える。但し、男女とも、5000mの記録を1名以上入れること。
 - ・ 関西学連選抜チームは、男女とも5000m最上位1名と、1500mまたは

5000mの得点上位3名で編成する。

- 提出方法 メールにて選考審査用紙を提出
 - 提出締切 2022年12月6日(火)
- チーム編成
- 競技方法
- 1チーム10名(監督1、マネージャー1、男子選手4、女子選手4)
 - (1) 2022年度日本陸上競技連盟競技規則駅伝競走基準を適用し
本大会申し合わせ事項、競技者注意事項等により実施する。
 - (2) 交通・警備、競技運営上、各中継所において繰り上げ出発することがある。
- 表彰
- 備考
- 第1位～8位までの入賞校および各区分賞の選手
 - **新型コロナウイルスに関するガイドライン等は別紙にて定める。**
 - 主催者による健康診断は行わない。各自の責任において健康に十分留意し参加すること。
 - 競技中に発生した障害・疾病についての応急処置は主催者で行うが以後の責任は一切負わない。ただし、2022年度日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
 - 大会前日(18日)に監督会議、競技終了後に表彰式・閉会式を行う。
* 今大会はコロナ対策のため開閉会式(表彰式を含む)は行わない可能性がある。
 - 本大会参加校(関西学連加盟校)は要請された学生審判員・補助員を派遣しなければならない。
 - 競技には一切伴走を認めない。
 - 本大会は関西テレビ及びBSフジにて中継する
(12時00分～13時30分予定)
 - 大会の映像は主催者および共催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
 - 本大会の記録公認申請は大会終了後の3日以内に行う。
- 個人情報の取り扱い
- (1) 主催者および共催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用する。また、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に公表することがある。
 - (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は主催者、共催者および主催者・共催者が承認した第三者が大会運営および宣伝等の目

的で大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等媒体に掲載することがある。

☆注1…全国の大学から、ランキング、主要大会から選考し、主催者（関西学生陸上競技連盟、関西テレビ放送、産経新聞社）が協議を行い、相応しい大学を招待校とする。

国立大東西四大学対校戦

企画意図

学生陸上の創成期である明治、大正時代は、官立大学（旧制大学）が中心となって学生陸上界を牽引してきたが、戦後、新制大学が人口増により多く設立され、今や大学駅伝については男女とも私立大学が大都市圏では優位にたっている。地方の国立大学が全日本クラスの駅伝大会に出場することは見受けられるが、関東・関西圏の国立大学が全日本クラスの駅伝大会に出場するのは、条件が整わない限り難しい状況となっている。このような環境下で、学生陸上の創成期から陸上競技部を有し、チームでの全国大会への出場を夢見ている男女学生ランナーたちのため、今回、関東・関西から選抜された国立大学による対校戦を行い、「全日本クラスの駅伝大会に出場」という夢を提供する大会を目指したい。

☆今大会においては関東圏から東京大学と一橋大学、関西圏からは京都大学と大阪大学を選抜する予定。

☆概要は全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会に準ずる。